

令和6年度 高御堂小学校 第1回学校運営協議会【報告】

令和6年5月30日(木)

10:45~13:10

会議室

- はじめのことば
- 校長あいさつ(※学校運営協議会委員委嘱・任命状交付)
- 学校運営協議会委員紹介(出席12名、欠席0名)

地域代表	森 正一	地域学校協働活動推進員 松下南・松下中民生委員・児童委員
	大津 新三	スクールガード 前高御堂南民生委員・児童委員
	小沢 康一	スクールガード 前松下西民生委員・児童委員
	近藤 誠一	前高御堂住宅南民生委員・児童委員
	村山 一男	スクールガード 高御堂北民生委員・児童委員
	破田野哲夫	令和6年度高御堂小学校教育後援会長 令和6年度高御堂小地区体育振興会長
保護者代表	後藤 有貴	令和6年度PTA会長
	伏屋和加子	令和6年度PTA副会長・家庭教育委員
教職員代表	滝藤 友美	校長
	串田 啓介	教頭
	梶浦 智弘	教務主任
	堀田 忠孝	校務主任

4 校内めぐり(授業参観)

5 学校運営協議会とは

(1) 学校運営協議会設置の目的【校長】

(2) 学校運営協議会構想図【校長】

- 教育活動は学校が単独で行っていくものではなく、家庭、地域とめざす児童像を共有しながら進めていくものである。学校がどのように教育活動を行っていくべきか、意見を出し合い、協議する場が学校運営協議会である。



6 協議事項

(1) 会長及び副会長の選出(協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により、選出する。第11条)

- 令和6年度 会長(森 正一) ○ 令和6年度 副会長(後藤 有貴)

(2) 学校運営の基本方針

- 学校評価項目について【教頭】

- 本校の教育活動について【教務主任】

＜質問＞ハイパーQ-Uはどのようなねらいで、どのような時期に行うのか。

→ 子どもたちの学級満足度を測るために5月と11月に実施し、その結果を基に、一人一人の児童の実態を考慮した学級づくりを進めていく。また、8月にハイパーQ-Uの分析、学級づくりの研修会を行い、単学級が多い本校の特性を考慮したり、一人一人の児童をより大切にしたりすることができるようになっていく。

- 教育環境整備について【校務主任】

＜質問＞これからのトイレ洋式化の見通しを教えてください。

→ 今年度、保健室前のトイレの洋式化、乾式化工事を行う。児童が使用する教室の近くのトイレの洋式化は終了しているが、改修の必要性があるトイレがあれば、市に要望を伝えていく。

(3) 年間活動計画【教頭】

(4) 各連携部の具体的活動【教頭】

7 その他

(1) 地域学校協働活動について【森会長】

- 地域学校協働活動とは、地域と学校が相互連携し、児童の学びや成長に資するものである。地域のつながりが弱くなっていたり、教師の働き方に課題があったりする今、地域と学校が協力して活動したり、学校の業務量を減らしたりすることは大切である。しかし、具体的な地域学校協働活動を推進するまでには至っていない部分もある。学校運営協議会と連携し、協議会委員のサポートも得ながら進めていきたい。



- (2) 登下校見守り活動について【大津様、後藤様、森会長など】
- ・ 今年度実施しているPTAの「登下校見守り活動」がすばらしい。
 - ・ 保護者の方々の中には、登下校を見守りたいという思いをもつ方がおり、今回の取組がよいきっかけとなったのではないかと。少しずつ見守り活動を増やしていけるとよいかもしれない。
 - ・ 自主的な活動が広がっていくとよいのではないかと。
 - ・ スクールガードについては、後継者不足が深刻化しているが、保護者の方もスクールガードに加わってくる流れが生まれてほしい。

(3) 学校課題についての情報共有及びグループ協議

地域連携部

- 児童の挨拶について
 - ・ スクールガードの方に1年生の児童が元気いっぱい挨拶をしたり、班長が「よろしくお願いします」と言ったりするなど、よくなってきている。少し恥ずかしい気持ちがある児童も会釈をするなど、それぞれに応じてがんばろうとしている姿に好感がもてる。
 - ・ 児童会の挨拶運動にPTA会員の皆様が加わってくださるとよりよいのではないかと。
 - ・ 今年度の児童の重点目標「はなさくよ」に対応して、挨拶の木をつくり、挨拶の取組や成果を見える化してはどうか。
- 人材の確保について
 - ・ 学校は保護者や地域に困り感をどんどん発出してほしい。保護者の立場からすると保護者や地域と学校の距離を感じることがある。教師でなくてもできる仕事はどんどん周りにまわしてほしい。そのことが、教育活動の充実につながる。
→ 「保護者・地域人材バンク」の発足。学校のニーズの発信と、保護者・地域の皆様のご都合をうまくマッチングするための仕組みの構築を進めたい。
- スクールガードへの連絡体制について
 - ・ 大雨の際、下校時間が予定通りでよいのかわからず、不安だった。連絡体制を整備してほしい。
→ 「tetoru」を活用したスクールガードへの連絡体制の整備を進めたい。

学習支援部

- 人材の確保について
 - ・ 人手が足りないのであれば、ボランティアを集める仕組みを作るとよいのではないかと。
→ アプリなどで、集約することができるとよいのではないかと。
→ ボランティアの方に児童の個別支援なども行っていただけるとよいのではないかと。
- 外国にルーツがある児童への教育について
 - ・ 市内で一か所に集約し、稲沢市主導で初期の指導などを行っていかるとよいのではないかと。
→ 令和6年度より稲沢市の事業として「日本語初期指導教室」が開始されている。徐々に範囲が拡大されていくとよいのではないかと。

環境整備部

- こども110番の家について
 - ・ 更新されていなかったり、場所が間違っていたりするが、よりよい形で活用をしていくにはどうしたらよいか。
→ 警察に連絡をしながら更新作業を進めていき、スクールガードの方とも共有していけるとよい。
- スクールガードの人材の確保について
 - ・ 令和5年度に前PTA会長から老人会の総会などで働きかけてもらうなど、人材確保の動きがあった。
→ 何かしようと思ってくださっている方も一定数いるのではないかと。学校やPTA、地域からも情報を発信し、きっかけをつくっていくとやっていただける方もいるのではないかと。

